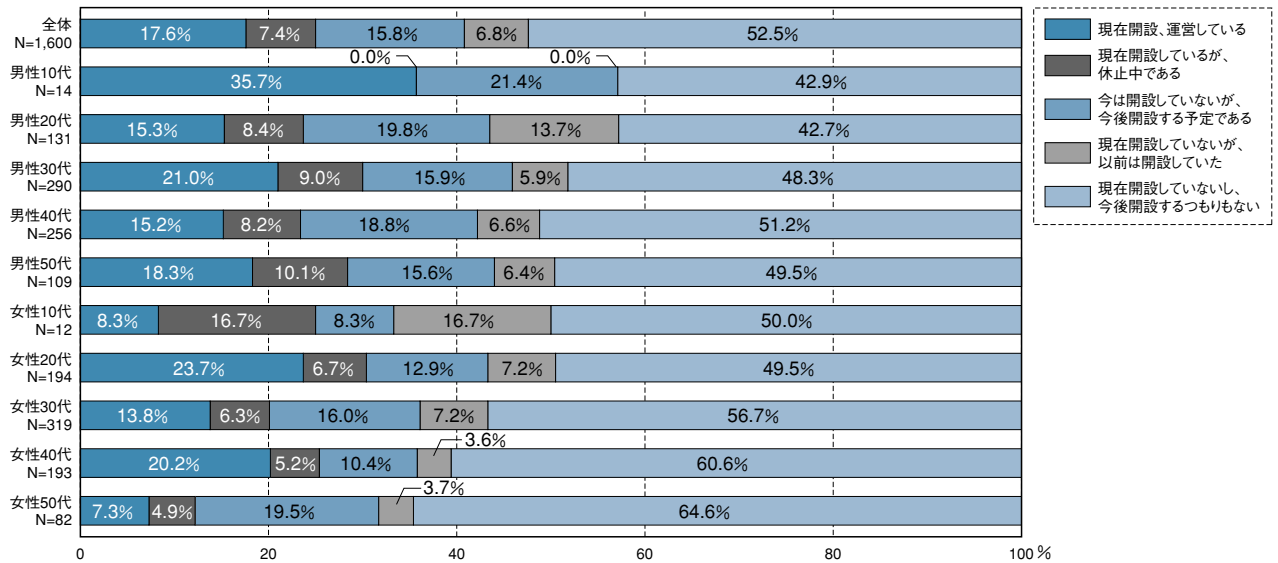


## 個人ウェブサイトとブログ

### 開設予定なしが約半数、男性の開設率・開設意欲は高め

資料2-4-26 個人ウェブサイトの開設状況 [全体と年代別と性別]

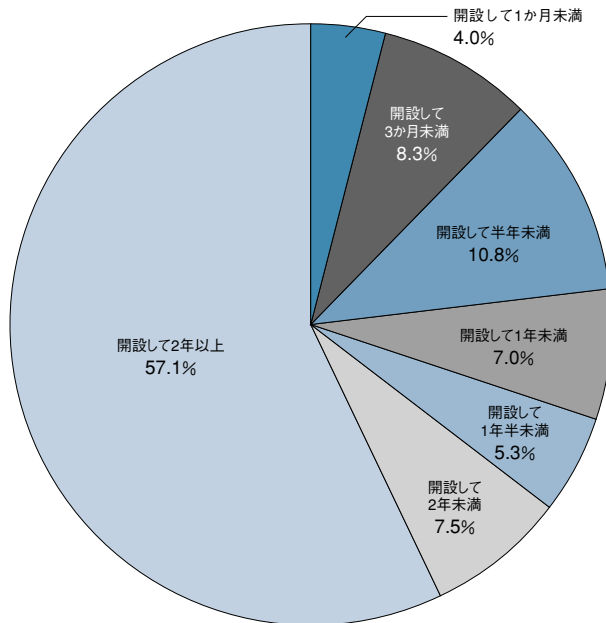


個人ウェブサイトの開設率は「現在開設していないし、今後開設するつもりもない」が52.5%で、昨年と同様の結果であった。また、「現在開設、運営している」(17.6%)が昨年の15.7%から若干増加する一方、「現在開設していないが、今後開設する予定である」(15.8%)が昨年の19.5%から減少した。男性のほうが女性より現在の開設率、今後の開設意向ともに高い。また、若年層のほうが現在の開設率が高い傾向にある。

©impress,2005

### 開設歴は「2年以上」が過半数

資料2-4-27 個人ウェブサイトの開設歴 N=399



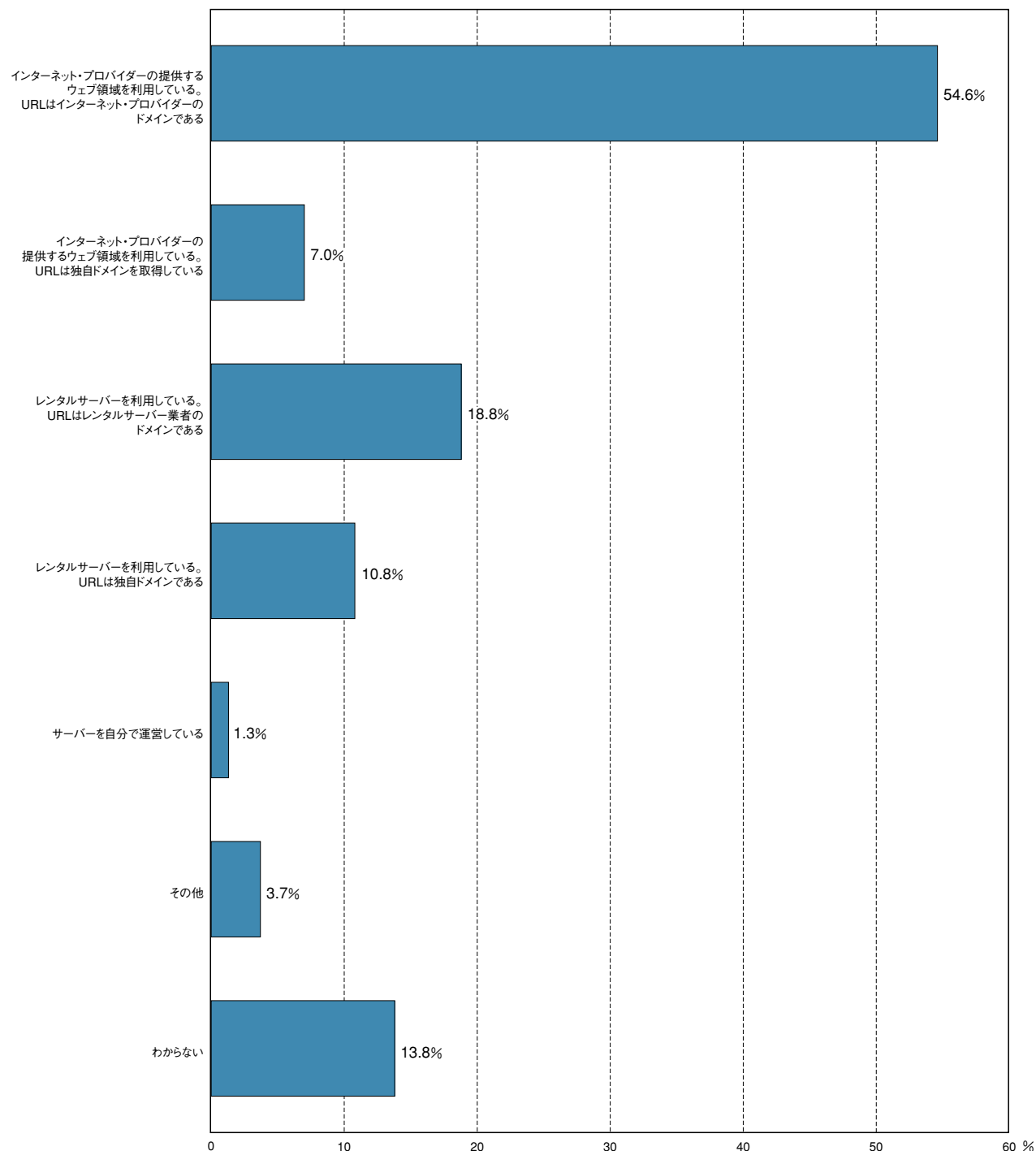
©impress,2005

個人ウェブサイトを現在開設している399サンプル(休止中含む)に対して開設してからの期間を聞いたところ、「開設して2年以上」が57.1%と過半数を占めている。また、この1年間で開設した人は約3割となっており、今後も増加するものと思われる。

## 個人ウェブサイトとブログ

### 個人ウェブサイトの運営形態は過半数がISPサービス

資料2-4-28 個人ウェブサイトの運用形態（複数回答） N=760



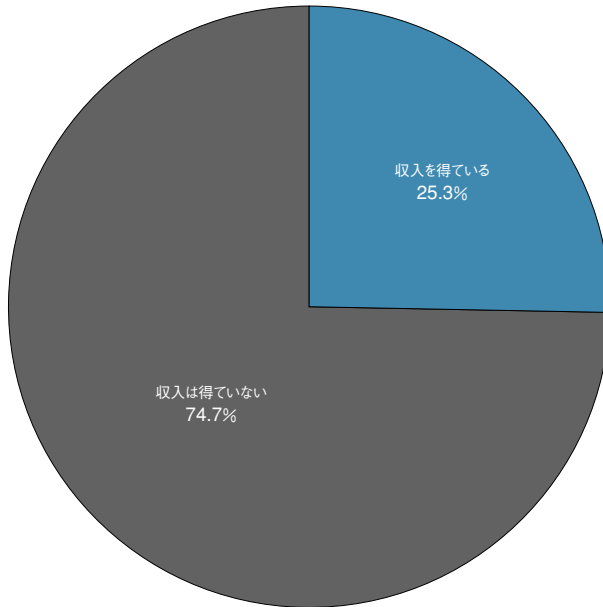
ウェブサイトの運用形態について、個人ウェブサイトを現在開設しているユーザー（休止中含む）、開設予定者、過去に開設していたユーザー760サンプルに聞いたところ、ディスク領域、ドメイン、セキュリティなどの面からトータルで管理してもらえる契約ISPのサービスを利用している人が54.6%と最も多かった。レンタルサーバーの利用が18.8%で、昨年とほぼ同様の結果であった。

©impress,2005

個人ウェブサイトとブログ

25.3%が個人ウェブサイトの運営で収入を得ている

資料2-4-29 個人ウェブサイトでの収入有無 N=281

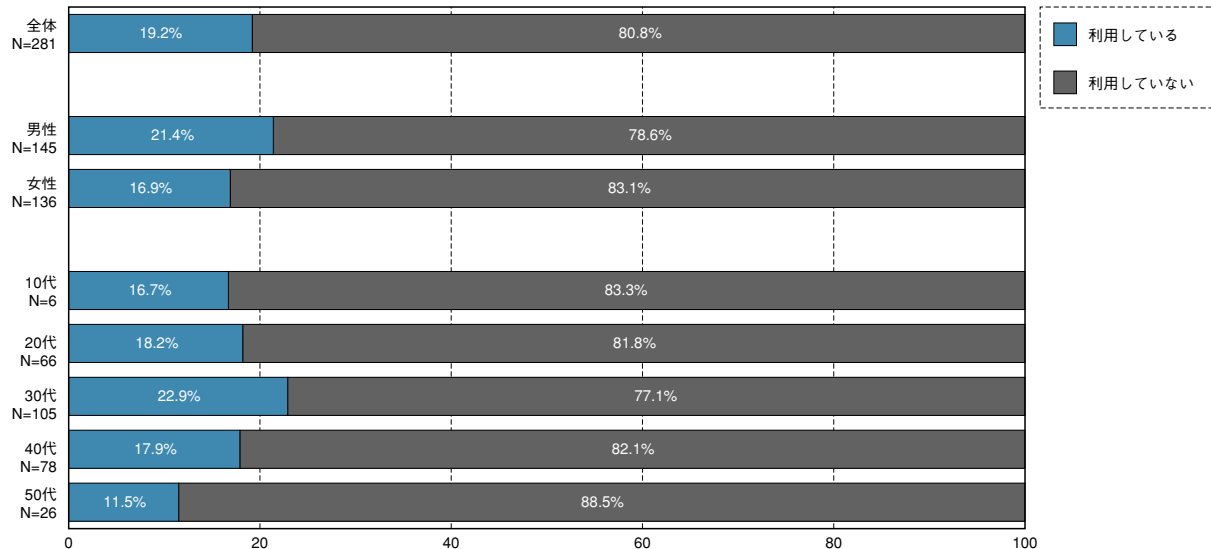


個人ウェブサイトを現在開設・運営しているユーザーの、個人ウェブサイトでの収入の有無については、「収入を得ている」が25.3%と昨年の11.4%に対して倍以上という結果であった。個人ウェブサイトが個人の趣味で完結している場合が多数を占めてはいるが、すでに4人に1人が収入を得ており、ビジネスや副収入のために個人ウェブサイトを運営する利用者が今後増えていくことが予測される。

©impress,2005

アフィリエイトプログラムの利用率は横ばい、30代男性の利用が高め

資料2-4-30 個人ホームページ開設者のアフィリエイトプログラム利用有無 [全体と年代別と性別]



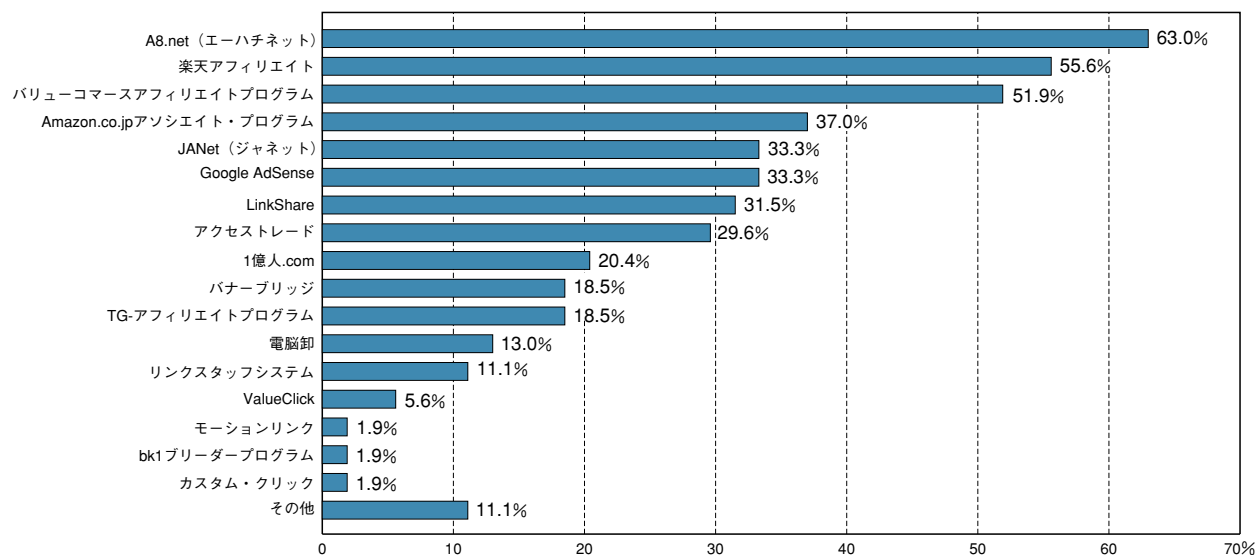
個人ホームページを現在開設している281サンプルの対象者に対して、ECサイトの宣伝をバナー広告に貼り付けて売上報酬を得る「アフィリエイトプログラム」の利用状況を聞いた。利用率は19.2%で、昨年とほぼ同じ利用率であった。男性および30代での利用がやや高い。個人ホームページの開設や閲覧に対する関心の高まりにともない、今後増加していくことが予測される。

©impress,2005

## 個人ウェブサイトとブログ

### アフィリエイトプログラムは「A8.net」「楽天」「バリューコマース」が主流

資料2-4-31 利用しているアフィリエイトプログラム（複数回答） N=54

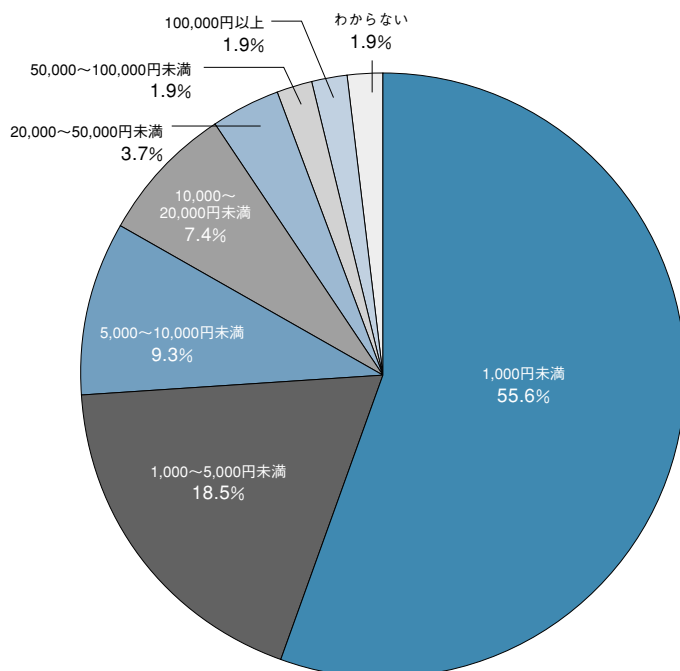


アフィリエイトプログラムを利用している54サンプルに、具体的に利用しているサービスを聞いたところ、「A8.net」が63.0%、「楽天アフィリエイト」が55.6%、「バリューコマースアフィリエイトプログラム」が51.9%で、この3つが半数を超えている。全体の利用率をみると、1ユーザー当たり平均4つくらいのアフィリエイトプログラムを利用しているものと思われる。

©impress,2005

### アフィリエイトプログラムからの金額収入は1,000円未満が過半数

資料2-4-32 アフィリエイトプログラムからの収入金額 N=54



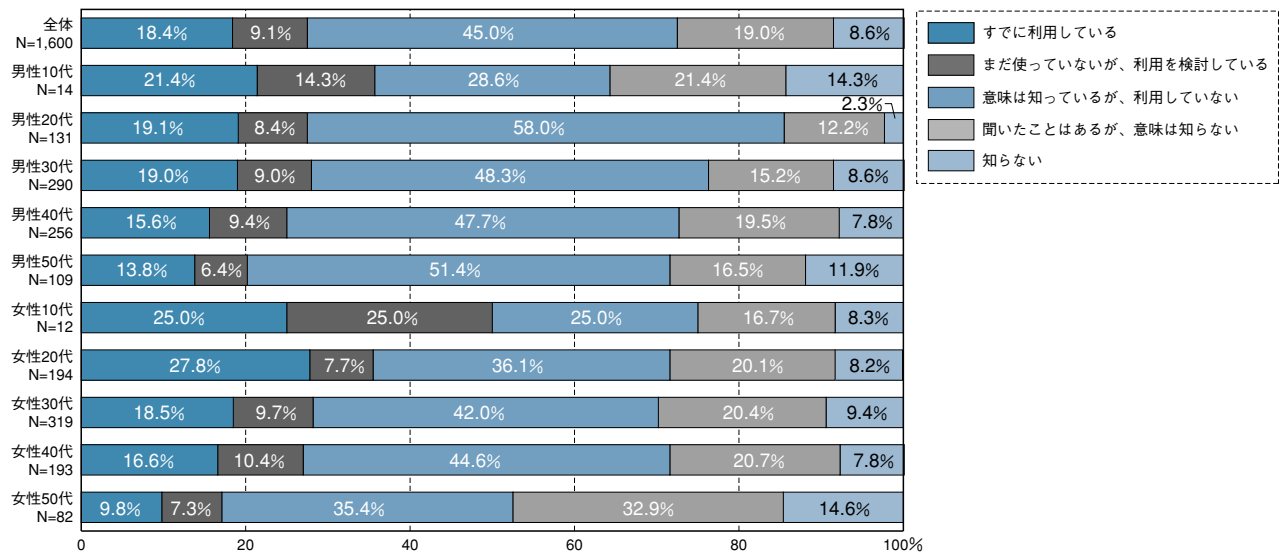
アフィリエイトプログラムを利用している54サンプルの対象者にアフィリエイトプログラムからの1か月当たりの収入金額を聞いたところ、「1,000円未満」が過半数の55.6%を占めている。一方で「10,000円」や「50,000～100,000円未満」など、比較的高収入を得ているユーザーもわずかながらみられた。

©impress,2005

個人ウェブサイトとブログ

急速に浸透しつつあるブログ、この1年で利用者も急増

資料2-4-33 ブログの認知度 [全体と年代別と性別]

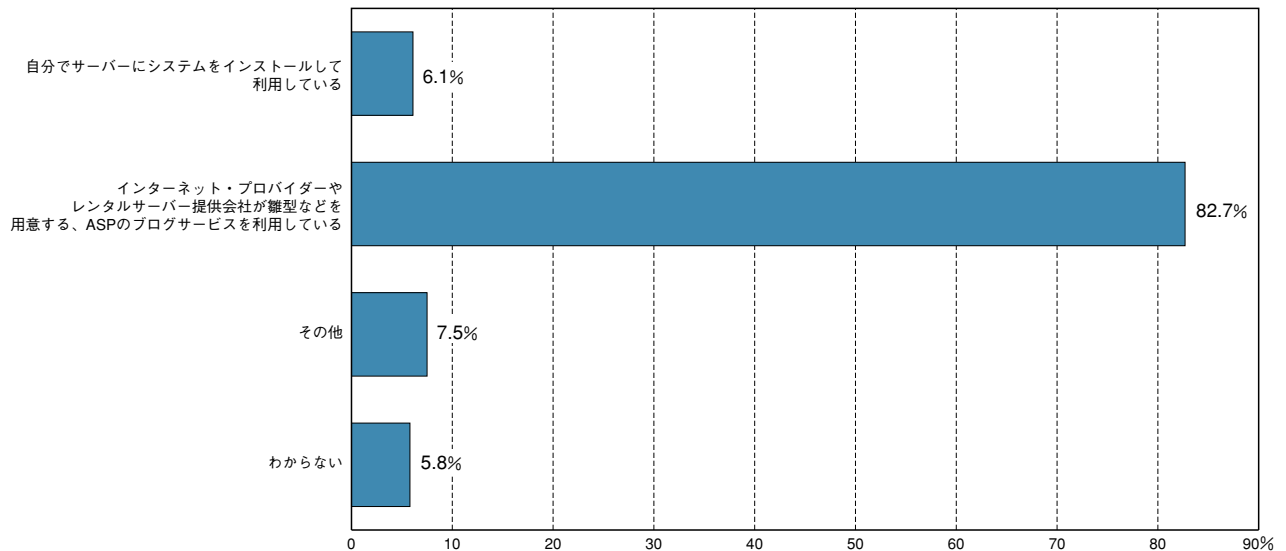


ブログに関して「知らない」が8.6%、「聞いたことはあるが、意味を知らない」が19.0%で、内容を理解していない人の合計は27.6%。これは昨年の66.4%から大幅に減少しており、急速に認知されつつあることがわかる。また、利用者も18.4%と昨年の2.5%を大きく上回り、この1年でブログ利用者が急増している。若年層ほどブログ利用者が高い傾向にある。

©impress,2005

ASPブログサービスの利用が約8割

資料2-4-34 ブログサービスの使用方法 (複数回答) N=294



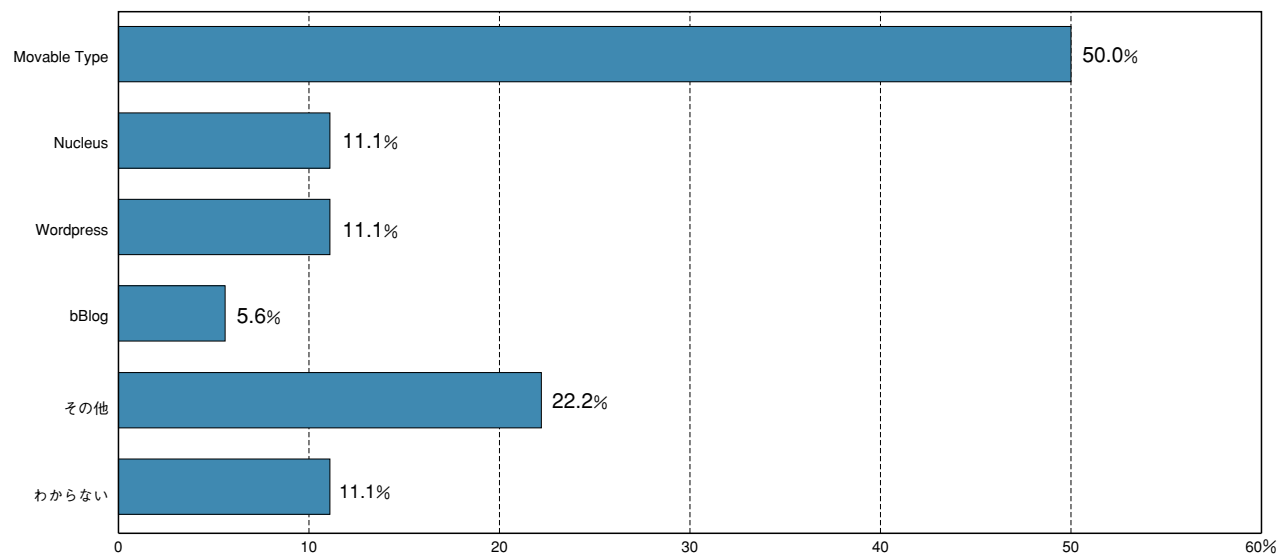
ブログサービスを利用している294サンプルに対してブログの使用方法を聞いたところ、「ASPのブログサービスを利用している」が82.7%で、昨年よりさらに高くなっている。ユーザーの裾野が広がり、それほどリテラシーの高くないユーザーもブログサービスを利用し始めているものと思われ、この傾向は今後も続くことが予測される。

©impress,2005

## 個人ウェブサイトとブログ

### 利用しているブログツールは「Movable Type」がトップ

資料2-4-35 利用しているブログツール（複数回答） N=18

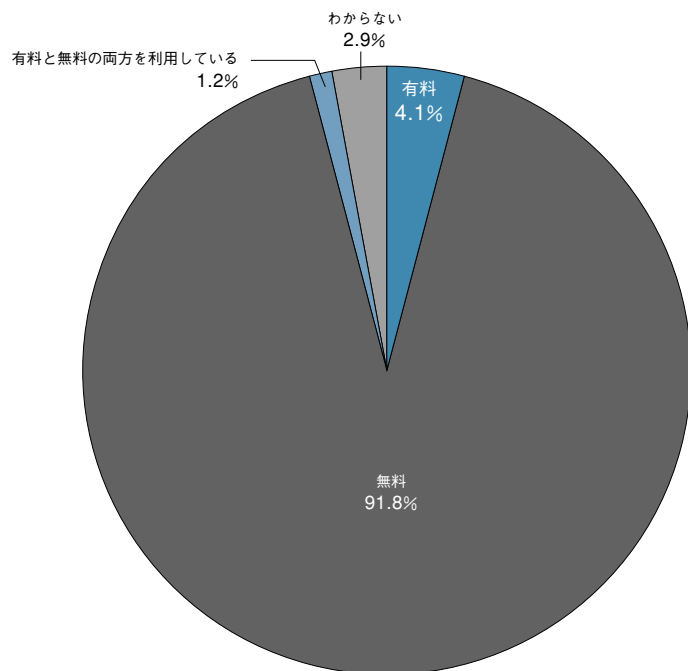


自分でサーバーにシステムをインストールしているブログの利用者に、具体的に利用しているブログシステムを聞いたところ、18サンプルと少数のため参考程度ではあるが、「Movable Type」が50.0%と半数を占めていた。

©impress,2005

### 無料サービスのみの利用が91.8%

資料2-4-36 有料ブログサービスの利用有無 N=243



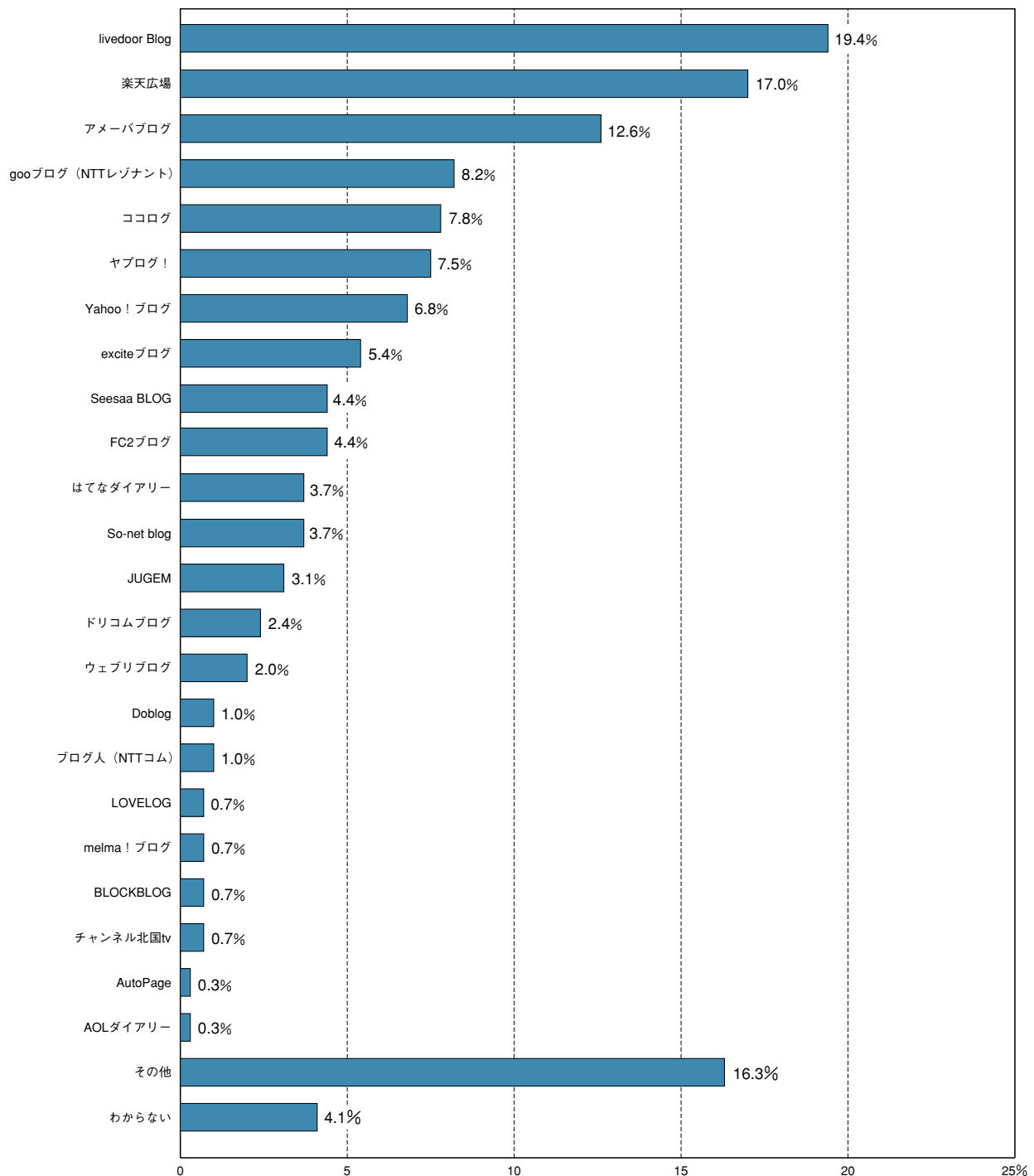
ISPやレンタルサーバー提供者によるASPのブログサービスを利用している243サンプルの対象者に、有料ブログの利用有無を聞いたところ、有料ブログサービスを利用しているのは無料との併用者を含めてもわずか5.3%で、9割以上が無料サービスのみの利用となっている。

©impress,2005

個人ウェブサイトとブログ

契約ISPのサービス利用から自分に合ったサービス選択の段階へ

資料2-4-37 利用しているブログサービス（複数回答） N=294



ブログサービスを利用している294サンプルの対象者に利用しているブログサービスを聞いたところ、「livedoor Blog」が19.4%でトップ、続いて「楽天広場」の17.0%であった。この2つはいずれも昨年の4.8%から大幅に増えており、契約しているISPのブログをそのまま使うのではなく、数あるブログサービスの中から、自分に合ったものを選択するユーザーが増加しているものと推測される。

©impress,2005



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)